

Nissin
DIGITAL

i60A

キヤノン用

取扱説明書



ニッシン製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用にあたっては、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。また、カメラの操作・機能に関しましては、ご使用になるカメラの取扱説明書をご参照ください。

対応カメラ

最新の対応カメラ一覧表は、

<https://www.nissin-japan.com>でご確認ください。



ニッシンエアシステム(NAS)は、ニッシンストロボとニッシンコマンドー用に設計された電波式ストロボ通信システムです。



- 2.4GHz帯 (ISMバンド) ※技術基準適合認定取得済み
- 使用可能範囲: 最長100m (使用環境によって異なります)
- 金属、ケーブル類、壁、2.4GHz帯を使用する他の機器などによって、NASの使用可能範囲が制限される場合があります。

製品保証について

本製品はメーカー保証が適用されますので製品添付の保証書、購入証明書を大切に保管してください。なお、本製品の付属アクセサリは消耗品扱いとなりますのでメーカー保証は適用されません。

安全上のご注意 ■必ずお守りください。

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止する為、お守り頂くことの説明をしています。よくお読みになり取扱いにご注意ください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電したり、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守り下さい。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物理損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。



警告

- 熱くなる、煙が出る、焦げ臭い、液漏れ、変色などの異常が発生した時は、やけどに十分な注意して速かに電池を取り外してください。
- 本機は高電圧の部分がありますので、絶対に分解しないでください。修理の場合は、弊社に直接またはご購入頂いた店舗にご依頼下さい。
- 落としたり、破損したりした場合、または機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。
- 人の目の前（特に乳幼児）に近づけて発光しないでください。目の近くで発光させると、視力傷害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。
- コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入ったりした場合、火災、感電または傷害の原因になります。
- 本機は防水ではないので、雨が掛かる場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
- 自動車など40℃を超えるような高温になる場所に放置しないでください。
- 可燃性ガスおよび揮発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。
- 走行中の車輛に向けてフラッシュをたかないで下さい。
- 発光面を人の身体に近づけて発光しないでください。怪我する恐れがあります。
- バッテリーは正しくセットして下さい。極性を間違えると液漏れや発火、爆発の原因になります。



注意

- 電池を高熱にさらさないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 連続発光後は本体（特に発光パネル部）や電池が熱くなっていますので、火傷にご注意ください。
- 不安定な場所で本機を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりすることにより怪我の原因となる場合があります。
- 強い衝撃を与えたり、床に投げつけたりしないで下さい。



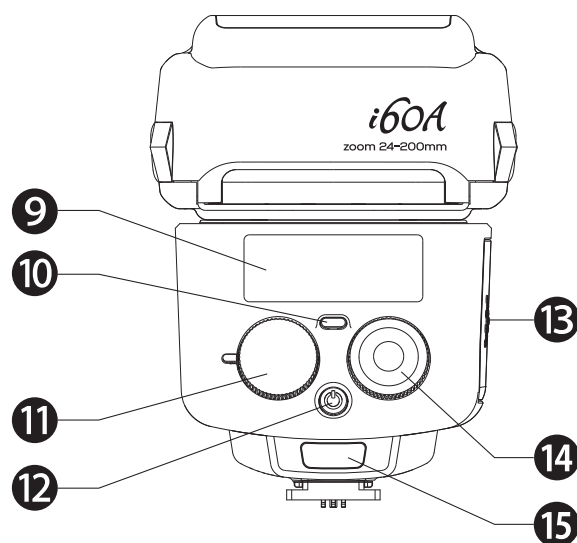
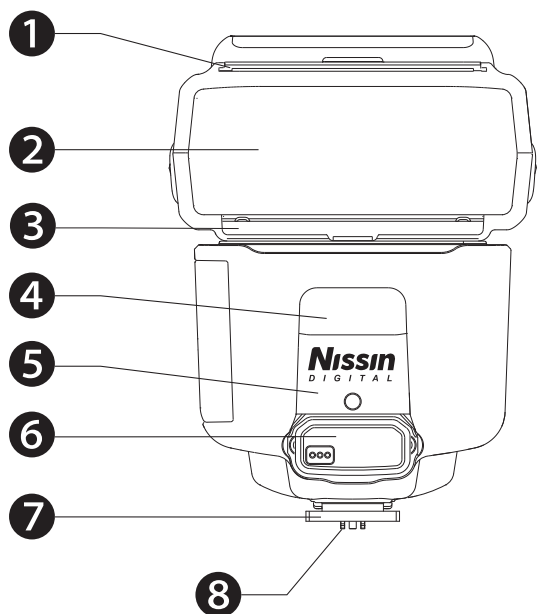
その他の注意

- ベンジンやシンナー、アルコールなどで本機を拭かないでください。変色や変形の原因となります。汚れのひどいときは柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本機を長期間使用しない場合は、液漏れ防止のため電池を抜いて保管してください。

目次

対応カメラ	2
製品保証について	2
安全上のご注意	3
各部名称／付属アクセサリ	5
省電力モードと過熱防止機能について	6
お使い頂く前に	7
基本操作	8
カメラに装着する／カメラから取り外す	8
電源を入れる	9
モードダイヤル	10
ビデオライトモード	11
アナログスレーブ(SF)モード	12
デジタルスレーブ(SD)モード	12
マニュアル(M)モード	13
フルオート(A)モード	14
TTLモード	15
ワイヤレスTTL(∞)スレーブモード	16
光学式ワイヤレスTTLスレーブ	16
電波式ワイヤレスTTLスレーブ	17
機能ボタン	18
チャンネル設定	18
ハイスピードシンクロ	19
マニュアルズーム	20
ビープ音オフボタン	21
操作ロックボタン	22
スレーブ撮影方法	23
その他の機能	24
赤目緩和機能	24
後幕シンクロ	24
オートフォーカス補助光	24
発光部の操作	25
ワイドパネル	25
バウンス	25
ディフューザー	26
キャッチライトパネル	26
外部端子	27
外部電源用ソケット	27
ガイドナンバーテーブル	28
トラブルシューティング	28
主な仕様	29

各部名称 / 付属アクセサリ



① キャッチライトパネル

② 発光部

③ ワイドパネル

④ ビデオライト

⑤ ワイヤレスセンサー

⑥ 外部電源用ソケット

⑦ 取付足

⑧ シュー接点ピン

⑨ カラー液晶ディスプレイ

⑩ パイロットランプ(テスト発光ボタン)

⑪ モードダイヤル

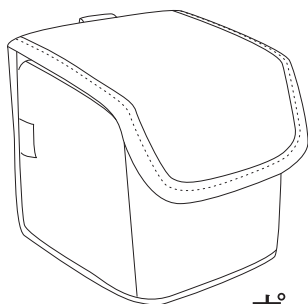
⑫ 電源オン/オフボタン

⑬ 電池カバー

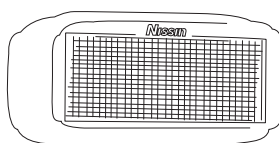
⑭ パワー調整ダイヤル 兼 機能ボタン

⑮ シューロック/ロック解除ボタン

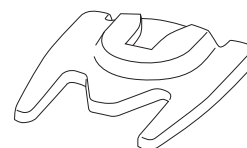
● 付属アクセサリ



ポーチ



ディフューザー



ミニスタンド

省電力モードと過熱防止機能について

省電力モード

本機は、電池の消耗を防ぐために、省電力モードを備えています。

A、TTL、Mモードの時はアイドル状態から2分後に、自動的にスタンバイモードに入ります。SD、SF、ワイヤレスTTLスレーブモードの時はアイドル状態から5分後に自動的にスタンバイモードに入ります。

スタンバイモードの時は、パイロットランプが2秒毎に点滅します。本機を復帰させるには、カメラのシャッターボタンを半押しするか、または、本機のどれかのボタンを押してください。本機の操作を60分間行わなかった場合は電源OFFになります。この場合は、再度電源を入れなおしてください。

過熱防止機能

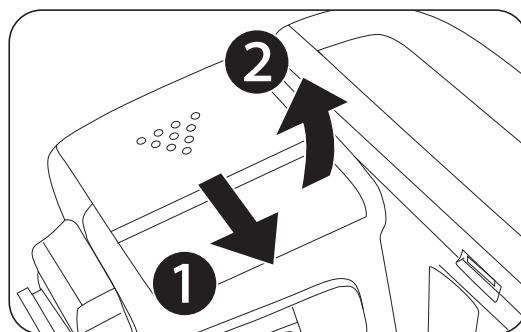
大光量の発光を20～30回続けた場合に、本機は回路を保護するために自動的に過熱防止機能が働きます。過熱防止機能が作動している間、パイロットランプは1.5秒毎に赤点滅します。過熱防止機能は自動的に解除され、再び使用できるようになります。

お使い頂く前に

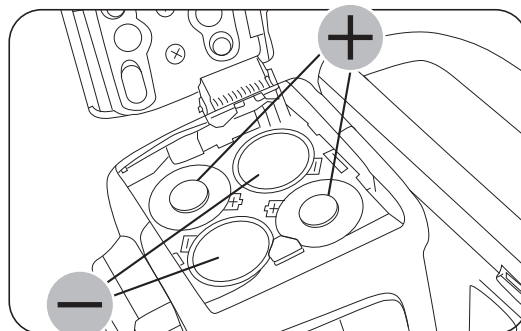
電池を入れてください

使用できる電池：ニッケル水素電池、アルカリ乾電池

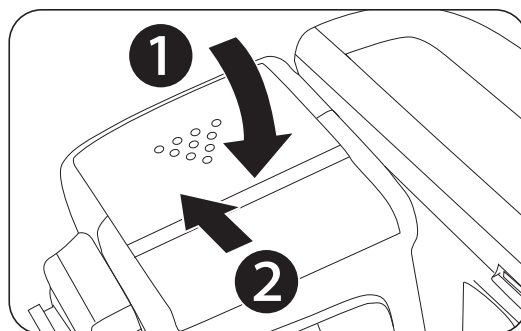
1. 電池カバーを図の①、②の順番に開きます。



2. 単3形電池4本の+、-の向きを、表示に合わせて正しく挿入します。



3. 電池カバーを閉める時は、カバーを押しながら①、スライドさせてください②。



ストロボのチャージ時間が30秒以上かかるようになった場合は新しい乾電池かまたは充電済みの充電電池に交換してください。

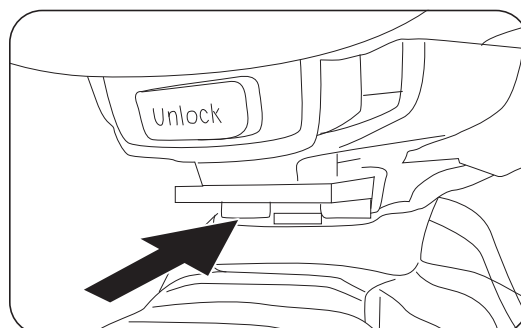
⚠ 注意

電池は、同じブランドで同じタイプの新しい電池を使用してください。同時に交換することをお勧めします。また、充電電池の場合は、すべて同時に充電した電池を使用してください。

基本操作

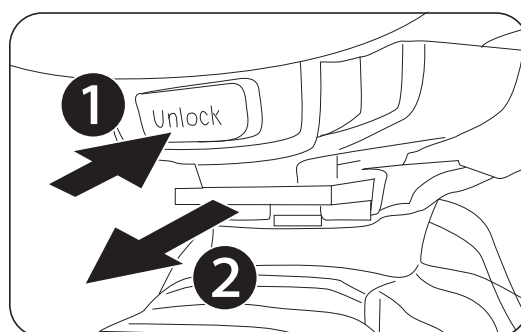
カメラに装着する

1. 本機の取付足をカメラのホットシューに挿入します。
2. ロックピンにより固定されるまで、しっかり奥まで差してください。



カメラから取り外す

1. [Unlock] (ロック解除ボタン) を押しながら①、ホットシューから引き抜きます②。



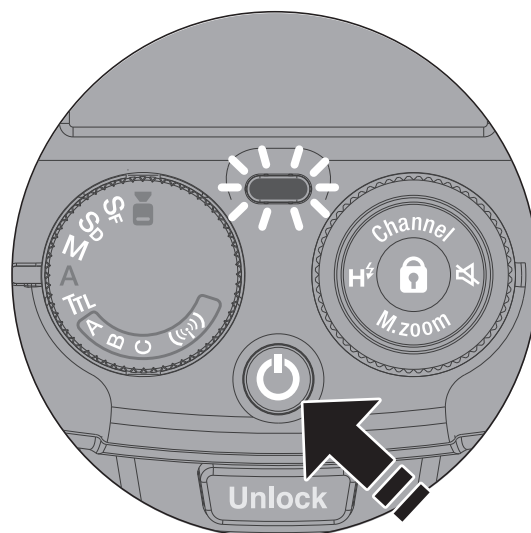
ⓘ 注意

カメラやライトスタンドに本機を取り付けた際、本機を掴んで持ち上げないで下さい。取付足やカメラのホットシューが破損する恐れがあります。

基本操作

電源を入れる

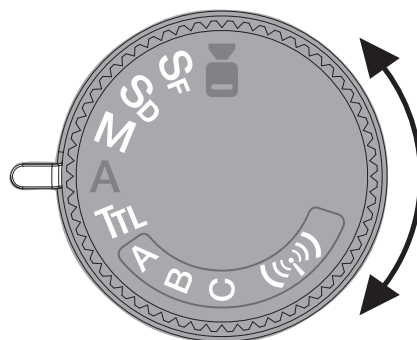
- 「オン / オフボタン」を押すと電源が入り、パイロットランプが赤色に点灯し充電が開始されます。
- 充電が完了すると、パイロットランプが緑色に変わり、本機が使用可能になります。
- テスト発光を行う場合はパイロットランプを押してください。
- 電源を切る場合は、「オン / オフボタン」を押してください。



モードダイヤル

各モードと機能

ダイヤルを回して
モードを選んでください。



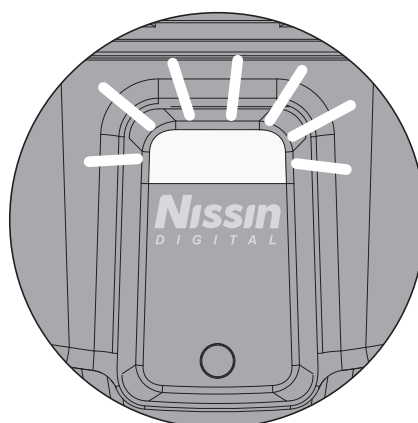
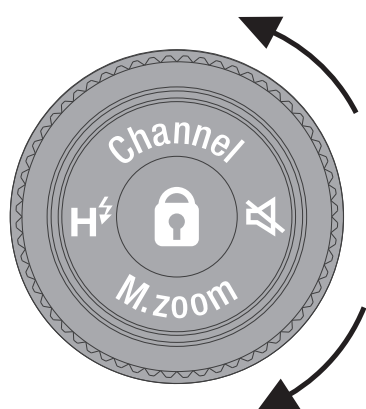
	<p>ビデオライトモード 動画撮影時に使用します。発光量を9段階調節できます。</p>
<p>Sf</p>	<p>アナログ(フィルム)スレーブモード 単発発光用スレーブ(従来型)。</p>
<p>Sd</p>	<p>デジタルスレーブモード プリ発光キャンセル機能付きスレーブ(TTL対応型)。</p>
<p>M</p>	<p>マニュアルモード 発光量を手動でセットします。</p>
<p>A</p>	<p>フルオートモード カメラに取り付けて撮るだけで自動的に光量を調整します。</p>
<p>TTL</p>	<p>TTLモード 自動的に光量を調整します。調光補正により微調節ができます。</p>
<p>A B C (無線)</p>	<p>ワイヤレスTTLスレーブモード(NAS電波式/光学式) ※NASコマンダーが電源OFFの場合には、自動的に光学式スレーブとして起動します。</p> <p>◎ NAS電波式スレーブ A: グループA B: グループB C: グループC</p> <p>◎ 光学式スレーブ A: グループA B: グループB C: グループC</p> <p>※純正ストロボのワイヤレスTTLマスター機能により制御可能。</p>

モードダイヤル



ビデオライトモード

- モードダイヤルを回し、「▶📹」を選びます。
- パワー調整ダイヤルを回し、発光レベルを選んでください。



モードダイヤル

SF

アナログ(フィルム)スレーブモード

マニュアル調光発光にワイヤレス同調します。

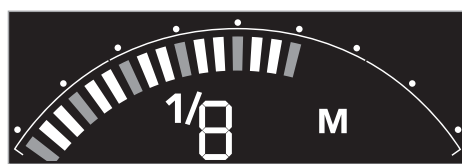
SD

デジタルスレーブモード

デジタル一眼レフカメラのプリ発光を伴ったTTL調光発光にワイヤレス同調します。

設定方法

- マスターストロボの発光モードがマニュアルの時は **SF** に、TTL の時は **SD** にセットします。
- モードボタンを回して、**SF** モードまたは **SD** モードを選びます。
- パワー調整ダイヤルを回し発光量をセットします。
発光量は 1/1 から 1/256 まで 1/3EV 刻みで調節できます。
- シャッターボタンを押して撮影します。
本機が発光し、カメラの液晶画面に撮影画像が表示されます。
- 撮影画像の露出を確認し、最適な露出が得られない場合は、発光量を調節します。



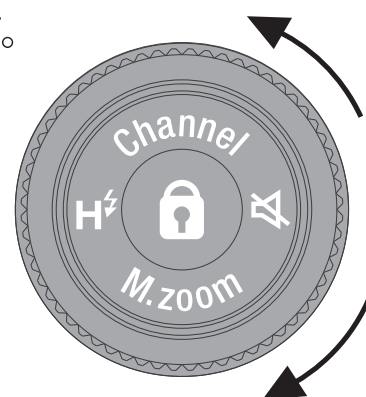
モードダイヤル

M

マニュアルモード

マニュアルモードでは、発光量を手動で調節することができます。発光量は、1/1から1/256まで1/3EV刻みで25段階の調節を行うことができます。

- モードダイヤルを回してMモードを選びます。
- パワー調整ダイヤルを回し発光量をセットします。
発光量は1/1から1/256まで1/3EV刻みで調節
できます。
- シャッターボタンを押して撮影します。本機が
発光し、カメラの液晶画面に撮影画像が表示
されます。
- 撮影画像の露出を確認し、最適な露出が得られない
場合は、発光量を調節します。



モードダイヤル

A

フルオートモード

本機をAモードにセットした時、下記のカメラモードでTTL自動調光システムが連動します。フルオートモードは、ほとんどの操作をカメラ側で行うことができる、初心者向けのモードです。

カメラの撮影モード

カメラの撮影モードが[□]、[P]、[AV]、[TV]、[M]の時に、E-TTL II／E-TTL自動調光を行うことができます。

上記に記載したすべての撮影モードにおいて、TTL調光を行うことができます。

- モードダイヤルを回してAモードを選びます。
- シャッターボタンを半押しして、被写体に焦点を合わせます。
- カメラのビューファインダーにシャッター速度、絞り、フラッシュマークが表示されます。
- シャッターボタンを押して撮影します。本機が発光し、カメラの液晶画面に撮影画像が表示されます。
- レンズ焦点距離を変えると、本機の発光ヘッド内のユニットが自動で移動し、その焦点距離を効率よくカバーします。24mm～200mm(35mm判換算)をカバー。

モードダイヤル



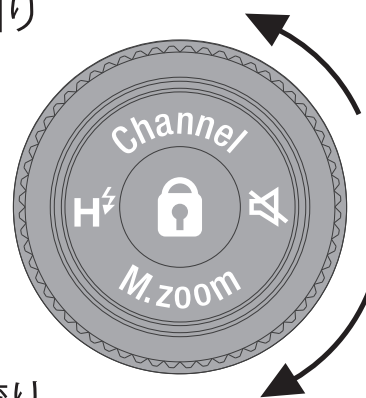
TTLモード

TTLモードでは自動で最適な露出を得ることができますが、任意で調光補正機能を使った微調整を行うこともできます。本機は、モードダイヤルにより素早く確実な調光補正が行えますので、とても便利です。

カメラの撮影モード

カメラの撮影モードが[□]、[P]、[AV]、[TV]、[M]の時に、E-TTL II / E-TTL自動調光を行うことができます。

- モードダイヤルを回してTTLモードを選びます。
 - 調光補正を行う場合はパワー調整ダイヤルを回します。
 - 時計回りに回すと+EV補正になります。反時計回りに回すと-EV補正になります。
 - 補正值は-2.0EV～+2.0EVまで1/3EV刻みで調節できます。
 - シャッターボタンを半押しして、被写体に焦点を合わせます。
 - カメラのビューファインダーにシャッター速度、絞り、フラッシュマークが表示されます。
 - カメラによっては、カメラ側から調光補正を行うことができます。(詳しくはカメラの取扱説明書を御覧ください。)また、ストロボ、カメラ、両方の調光補正がセットされている場合は、両方の補正值が合算されます。
 - 本機のディスプレイには、本機でセットした補正值のみが表示されます。
- ※カメラ側の調光補正值は反映されません。



モードダイヤル



ワイヤレスTTLスレーブモード

ワイヤレスTTLのスレーブストロボとして同調し、TTL発光を行います。光学式と電波式 (NAS) があります。

((())) 光学式ワイヤレスTTLスレーブ

本モードは純正ストロボの光学式ワイヤレスシステムと互換性があります。

- モードダイヤルを回して「((()))」モードのグループ **A** または **B** または **C** を選びます。



- マスターユニット側のグループ設定で同じグループを選び、モード、設定値などをセットして、コントロールしてください。
※マスターユニット側をどのチャンネルに設定しても本機は同調します。

マスターユニットとして使用できる機器

- 光学式ワイヤレス TTL マスター機能付き キヤノン製ストロボ、トランスミッター ST-E2、マスター機能を搭載した内蔵ストロボ

モードダイヤル



ワイヤレスTTLスレーブモード

電波式ワイヤレススレーブ(NAS)



本機は、ニッシン独自の電波式ワイヤレスTTLシステムNASのスレーブ機能を内蔵しています。NASコマンダーにより、TTL、M(マニュアル)、Zoom(マニュアルズーム)が遠隔操作できます。

- 最初に NAS コマンダー (Air10s 等) とペアリングを行います。
※ペアリングの仕方は NAS コマンダーの取扱説明書をご覧ください。
- モードダイヤルを回して
「電波式」モードのグループ **A** または **B** または **C** を選びます。

Air10sで遠隔操作した場合の本機のディスプレイ表示



NAS : TTL モード



NAS : マニュアルモード

NASコマンダーとして使用できる機器

- Air1、Air10s、MG80 Pro

【参考】：異なるマウント、例えばフォーサーズ用、ニコン用などの Air1、Air10s でもペアリングを行えば、全モードが使用できます。

注意

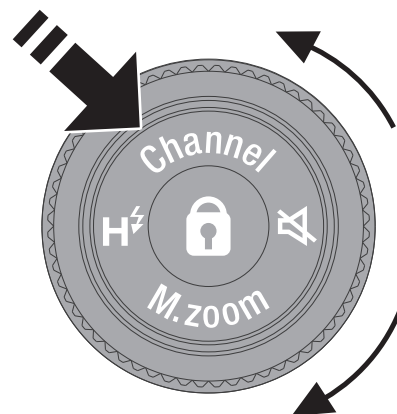
NAS コマンダーの電源が OFF になっているときに、本機を「電波式」モードに設定すると自動的に光学式ワイヤレススレーブモードが起動します。

機能ボタン

Channel

チャンネル設定

通常使用時は変更の必要がありませんが、無線LAN、Bluetooth、ハンディフォン、ハンドフリーマイクなど 2.4GHz 帯を使用する他の通信機器が多く使われる場所では、電波干渉によりNASが正常に動作しないことがまれにあります。そのような場合は、通信チャンネルの変更を行うと改善することがあります。



チャンネルを切り替える場合は、「機能ボタン」の「Channel」を1秒押して下さい。チャンネルの値は「パワー調整ダイヤル」を回すと変わります。7秒後に自動的に元のモードに戻ります。手動で元のモードに戻す場合は、もう一度「Channel」を1秒押して下さい。

自動チャンネル設定

本機のチャンネルをAにし、NAS コマンダーのチャンネルを変更してください。



【参考】：（自動チャンネル設定でも改善しない場合のみ行ってください。）

手動チャンネル設定

NAS コマンダーのチャンネルに合わせて1～8※のチャンネルを手動設定します。

※Air10s では2～8チャンネルのみ使用できます。

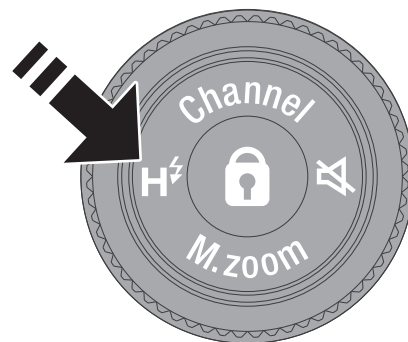


機能ボタン

H^z

ハイスピードシンクロ

本機は 1/8,000 のシャッタースピードまで同調するハイスピードシンクロ (HSS) に対応しています。HSS は A、M、TTL、「(Ⓜ)」モードで使用できます。



HSS の起動の仕方

●A、M、TTL の場合 (2 通り) :

- ① 本機のパワー調整ダイヤルの「H^z」を 1 秒間押します。
※解除する場合も同じ操作です。
- ② カメラのメニューで、HSS をオンにすることもできます。

●「(Ⓜ)」モードの場合 :

(光学式ワイヤレス TTL スレーブ時)

- ・カメラのメニューで、HSS をオンにしてください。

(電波式ワイヤレス TTL スレーブ時)

- ・NAS コマンダーの H マークを長押しして、HSS をオンにしてください。

※詳しくは NAS コマンダーやマスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

ⓘ 注意

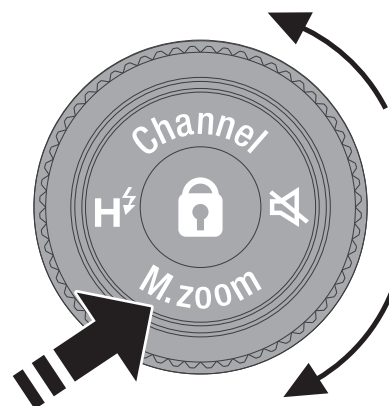
HSS モードはストロボに負荷のかかる発光方式のため、発光部が過熱すると機器を保護するための安全機能が作動し、チャージの間隔が自動的に 12 秒に制限されます。温度が下がると制限は自動解除されます。

機能ボタン

M.ZOOM

マニュアルズーム

- SF / SD / M / TTL / ワイヤレス TTL スレーブモードの時、マニュアルズームの設定ができます。
- パワー調整ダイヤルの「M.Zoom」を1秒間押すと、ズームの切り替えができます。初期設定は「A」オートになっています。
- パワー調整ダイヤルを回すと、発光ヘッドの照射角が変わります。
- 「A」の位置に戻すと、オートズームに切り替わります。
- もう一度「M.Zoom」を1秒間押すと、元のモードに戻ります。



24mm



200mm

⚠ 注意

マニュアルズームで設定した値は、電源を切っても保持されます。

⚠ 注意


オートズームに設定されていても、ワイヤレスモード(SF、SD)設定時は、照射角は35mmに固定されます。

機能ボタン

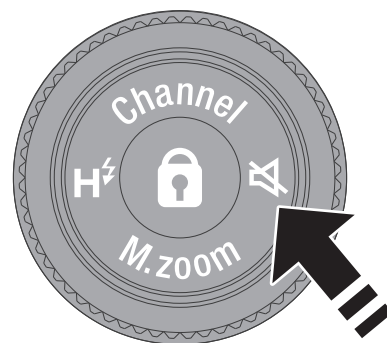


ビープ音オフボタン

本機は、NAS コマンダーで設定値を変更した時や、チャージ中に、ビープ音を発する初期設定になっていますが、「ビープ音オフボタン」を押すと、ビープ音を停止することができます。

ビープ音をオフにするには、「機能ボタン」の「ビープ音オフマーク 」を1秒押して下さい。


ビープ音をオンにする場合は、もう一度「ビープ音オフマーク」を1秒押して下さい。



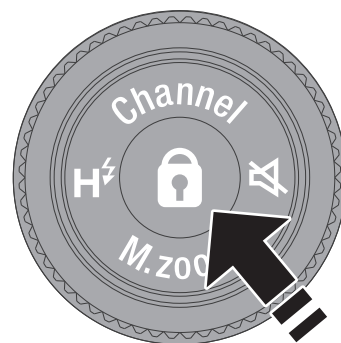
機能ボタン



操作ロックボタン

「パワー調整ダイヤル兼機能ボタン」の中心の  を一瞬間押すと設定値がロックできます。ロックがかかっている間は、「パワー調整兼機能ボタン」で設定できる設定値や機能は変更できなくなり、電源も OFF になりません。(ただし、「モードダイヤル」によるモード変更はできます。)

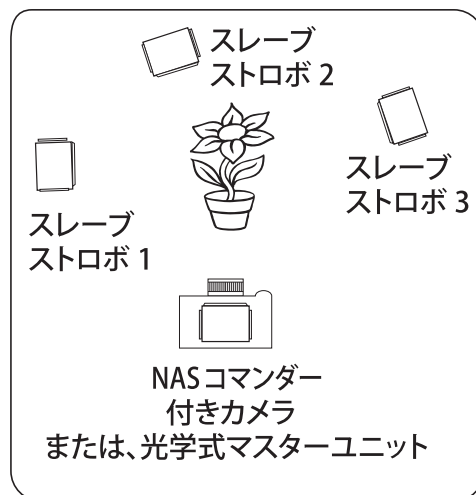
ロックを解除するには、もう一度「操作ロックボタン」を 1 秒間押してください。



スレーブ撮影方法

NAS コマンダーをカメラに取付けて電源をオンにします。

- スレーブストロボ（本機）を任意の場所に設置します。
- マスターストロボまたはコマンダーのテスト発光を行い、スレーブストロボの同調を確認します。
- スレーブストロボが同調すれば、撮影可能になります。



※被写体の周辺に設置できるストロボの数に制限はありません。

※スレーブ時オートパワーオフ機能により 60 分後に電源オフになります。

※スレーブ時はスタンバイモードには切り替わりません。

※i60A の設置場所によっては、スレーブ同調しない場合があります。

⚠ 重要

金属製のアクセサリシューに本機を取り付ける場合は、接点がショートしないようにご注意ください。

その他の機能

赤目緩和機能

カメラのメニューで、「赤目緩和機能」を入にすると、被写体の赤目現象を緩和するために、本機は本発光を行う直前にプリ発光を行います。

後幕シンクロ

カメラのメニューで後幕シンクロに設定すると、シャッターが閉じる直前に発光を行います。

オートフォーカス補助光

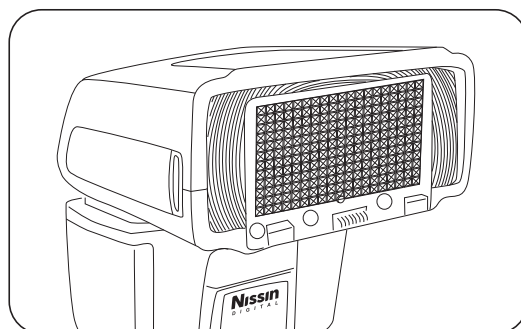
低コントラストの被写体や、暗所で撮影を行う場合、オートフォーカス補助光を被写体に自動的に照射し、合焦しやすくします。照射された赤色光は、撮影画像には写りません。

※一部のカメラ（ミラーレス等）では、照射されません。

発光部の操作

ワイドパネル

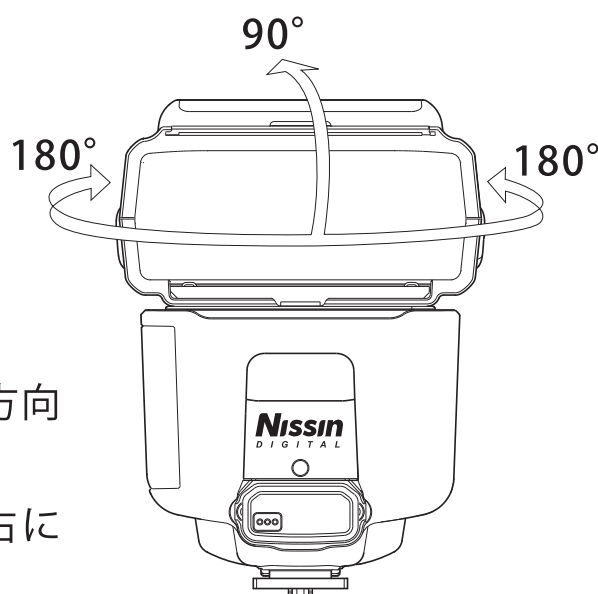
内蔵のワイドパネルを引き出して、図のように発光部の前に被せると、16mmの撮影画角に対応できます。



バウンス

主に屋内で、天井や壁などにストロボ光を反射させてバウンス撮影を行うと、被写体の不自然な影を和らげ、自然な感じになります。

- フラッシュヘッドを手動で上下左右方向に向きを変えます。
- ヘッドは、上方に90°、左に180°、右に180°回転します。



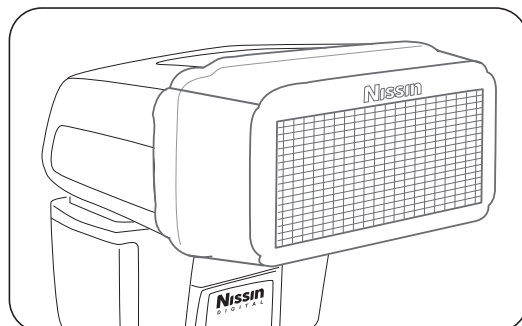
注意

- ・バウンス時、照射角はオートズームに設定している場合は50mmに固定されます。(電波式スレーブ時を除く)
- ・天井や壁までの距離が離れているときは、ストロボ光が十分に反射せず、効果を得られない場合があります。
- ・バウンス撮影時のストロボ光は、天井や壁の色の影響を受け着色する場合があります。
- ・バウンス時は、光が減衰します。効果が十分得られない場合は、カメラのISO感度を上げるなど、露出設定を調節してください。

発光部の操作

ディフューザー

ストロボ光を拡散させるときに使用します。

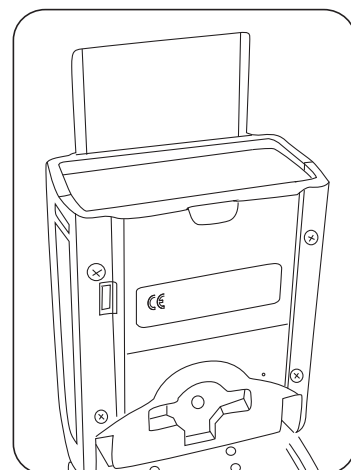


キャッチライトパネル

バウンス撮影時、近距離でキャッチライトパネルを使用すると、被写体の人物の目に光が差し込み、表情が明るくなります。

- キャッチライトパネル使用時は、上方 90°にバウンスさせてください。

※キャッチライトパネルは、ディフューザーを取り付けたまま使用できます。



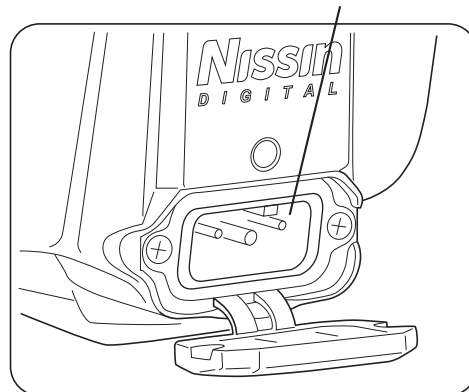
外部端子

外部電源用ソケット

本機は、外部電源用ソケットを装備しており、別売のストロボ用外部電源（PS8）を装着することができます。

外部電源装着中は、本機の単3電池も使用しますので、取り外さないでください。

外部電源用ソケット



※外部電源の電源コードはキヤノン用をご使用ください。

ガイドナンバーテーブル (ISO100・m) 照射角は35mm版換算値

焦点距離	パワーレベル								
	Full	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32	1/64	1/128	1/256
24mm	27	19	13	10	7	5	3	2	2
28mm	29	20	14	10	7	5	4	3	2
35mm	32	23	16	11	8	6	4	3	2
50mm	39	28	20	14	10	7	5	3	2
70mm	42	30	21	15	11	7	5	4	3
85mm	45	32	23	16	11	8	6	4	3
105mm	50	36	25	18	13	9	6	4	3
135mm	54	38	27	19	13	10	7	5	3
200mm	60	42	30	21	15	11	7	5	4

トラブルシューティング

ストロボがチャージしない

- 電池の向きを確かめて、逆向きになっている場合は正しく挿入してください。
- 電池が消耗していないか確認して、消耗している場合は新しい電池を入れてください。

ストロボが発光しない

- ストロボがしっかり固定されていない場合は、奥までしっかり装着してください。
- ホットシュー接点が汚れている場合は、接点を乾いた布で拭いてください。
- オートパワー機能により電源 OFF になっている場合は、電源を入れ直してください。

写真が露出オーバーまたは、アンダーになる

- モードを確認してマニュアルモードになっている場合は、「TTL」モードに設定してください。

主な仕様

マウント	キヤノン用
ガイドナンバー	60 (ISO100/m・照射角 200mm)
カバー焦点距離	24~200mm (オートズーム)・ワイドパネル使用時は 16mm
発光間隔	0.1 秒~5.5 秒
発光回数	220~1,500 回 (内部バッテリー使用時)
閃光時間	1/800~1/20,000 秒
色温度	約 5,600K
LED ライト	連続発光 3.5 時間 (最大光量の時)
モード	フルオート/TTL: ETTL II / ETTL マニュアル: 1/256~1/1 (1/3EV ステップ)
ワイヤレス	電波式ワイヤレス TTL スレーブ (NAS 規格) 光学式ワイヤレス TTL スレーブ (純正互換) スレーブ※1 (SD モード・SF モード)
ストロボ調光補正	-2.0~+2.0 1/3EV ステップ
ヘッド可動範囲	上方 90°・左 180°・右 180°
その他の機能	後幕シンクロ、赤目緩和機能対応
背面操作部	カラー LCD・ダイヤル
外部端子	外部電源端子
電波仕様	2.4GHz 帯 ISM バンド
付属品	ポーチ、ディフューザー、三脚ネジ穴付きミニスタンド
電源	単 3 形電池 4 本 (別売)
大きさ	約 98(H) x 73(W) x 112(D)mm
質量	約 310g (電池除く)

※1. SDモードはプリ発光調光方式のストロボに、SFモードは 1 回のみ発光する方式のストロボに連動するモードです

※製品の仕様は、改良などにより予告なく変更することがあります。

Nissinは、ニッシンジャパン株式会社の登録商標です。その他記載の会社名や製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

★カメラとの対応状況やファームウェアアップデートについては、ニッシンジャパンのホームページ各製品情報をご覧ください。

★お問い合わせはホームページのお問い合わせフォームをご利用ください。

Nissin ニッシンジャパン株式会社

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北1丁目17番5号 上野ビル2F

ニッシンジャパンのホームページ <https://www.nissin-japan.com>

Ver. 19101601